

会議録名	佐久市人権同和教育推進協議会		
日 時	令和元年7月9日(火)	開始時間	13:30 ~ 14:30
開催場所	佐久市役所8階大会議室		
出席者	佐久市人権同和教育推進協議会委員9名 糊澤教育長、青木社会教育部長、高橋主幹指導主事(学校教育課)、 戸塚人権同和課長、平川係長、油井、清水社会教育指導員 欠席委員10名		
提出資料	佐久市人権同和教育推進協議会次第ほか22ページ		
内容	<p>1 開 会 進行：社会教育部長</p> <p>2 委嘱書交付</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 教育長あいさつ</p> <p>5 自己紹介</p> <p>6 協議事項 議長(小林会長)</p> <p>(1)平成30年度 人権同和教育・啓発事業実績について</p> <p>○質疑・意見</p> <p>・就学前の人権同和教育</p> <p>委 員：就学前の人権同和教育はどのようなことを実施しているか。</p> <p>事 務 局：保護者の方や保育園幼稚園の先生を対象としている。内容は幼少期向けの人権同和教育研修で、各園長先生宛てに実施のお願いをしている。</p> <p>委 員：就学前の人権同和教育が実施できなかった理由は。</p> <p>事 務 局：例年は各園へ働きかけをして、1か所以上はやっていただいたが、去年は働きかけが足りなかった。そのため、今年はこの時期から働きかけている。</p> <p>委 員：働きかけがあってもなくても、やってもらわなければならないことはあると思う。去年はできなかったという事が心配だった。</p> <p>2点目に、学校人権の集計が上がったが、集計はどう変わったか。</p> <p>事 務 局：昨年度までは、学校の先生がどの程度人権同和教育に関わっているかを算出して集計していた。今年度は、それだと実態が良く分からない部分があるので、県が各学校へ実態調査をしてまとめたデータがあり、それを佐久市だけでまとめた場合の集計をした。学校の実態になるべく近づけるために今回</p>		

は集計方法を変更してみた。

委員：最近の傾向として、同和問題についての扱いは、腰が引けてきているようだが、この表をどう分析されたか。

事務局：小学校では主にいじめ問題の扱いが大きい。中学校になると携帯電話やインターネットでの扱いが増えてくる。こういった情報を学校へも投げかけながら、先生方の研修をすすめることができると考えている。

委員：この表を見て、ここが不足している、ここにもっと力をいれなければというところは。そこを示していかないと、なかなか学校教育は変わらないと思う。

もう一点、教職員人権同和教育研修会のところで、自主参加にしてほしいと要望があるというのは。

事務局：教職員組合からの要望があった。例年夏休み中に開催しているが、大勢の方に参加していただくのがなかなか難しい。

委員：先生方の事情もあるが、無くしてはいけないものもあると思う。よく検討していただきたい。

(2) 令和元年度 人権同和教育・啓発事業計画について

○質疑・意見

委員：昨年度の参加者集計と今年度の計画が結びついていない部分がある。例えば昨年度までの参加者で満足しているのに、これを維持すればいいとか、参加者が少ないのもっと多くとか、意思表示が見えない。やっただけで満足してしまっているように思う。

事務局：参加人数等については、昨年度より多くと掲げて、進めていきたい。

委員：今すぐということではないが、できれば数値目標があると良い。また、数値を掲げて達成したから満足ということでもないので、実施内容とバランスをとってもらえれば。

(3) その他 当面の研修会等、次回の会議日程

○質疑・意見

委員：これまでも人権同和教育をやってきた中で、これは改善された、というものはあるか。

事務局：例として、昨年度市内4地区でやった講座のアンケートで、改めて差別や人権問題について考えることができたという意見を沢山いただいている。市民の皆さんが、講座や学習会に参加して、周りの方との接し方を改めて考えてみることが大

切。今年度以降も引き続き続けていきたい。

委員：人権同和教育推進員も務めており、社会教育の方でも関わっていて、先日、持続可能な未来（SDGs）の話をするがあった。「誰一人置き去りにしない社会」、人権そのものだと思う。これまでもいろいろなことをやってきているが、それで終わりではなく、これからも必要なこと。

7 閉会

社会教育部長